北陸新幹線金沢開業について

１．概　要

○２０１５年３月１４日金沢・長野間開業

○時間短縮効果

【金沢⇔東京間】
開業前３時間４７分 → 開業後２時間２８分（▲１時間１９分）
〈特急←(乗換)→上越新幹線〉

（参考）【金沢⇔長野間】
開業前　約４時間（平均）　→ 開業後１時間５分（▲２時間１９分）
〈特急←(乗換)→普通〉

○輸送力

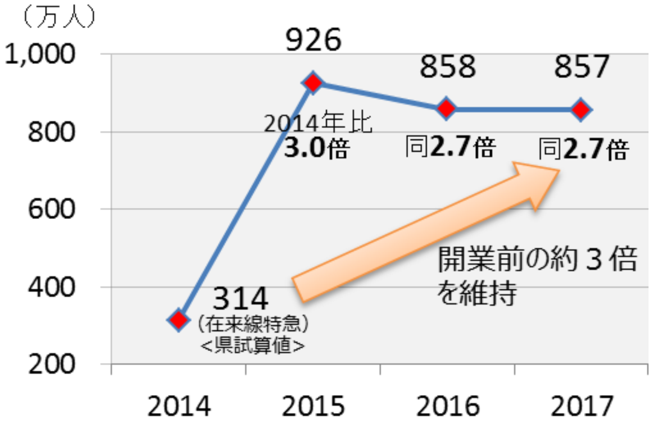
【金沢⇔東京間】（臨時便を除く）
開業前 約４８０万席/年間 → 開業後 約１，６２０万席/年間

○天候に影響されにくい安定した運行性

この冬の記録的な大雪において、各種交通機関が３日間にわたり麻痺する中、北陸新幹線はほぼ平常運行を維持

２．開業による主な効果

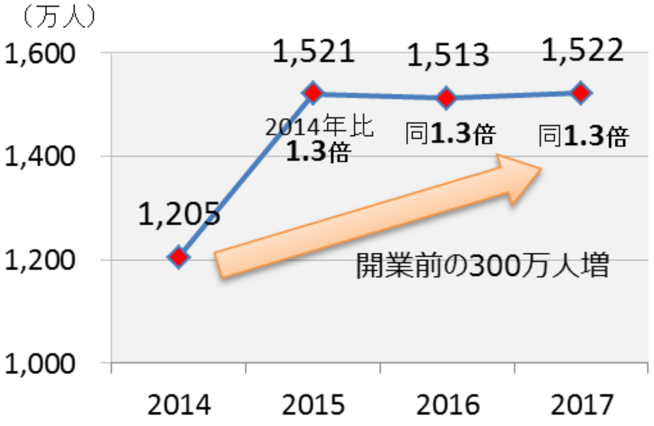
○新幹線利用者数



※各年3月14日～翌年3月13日の利用者

（参考）小松・羽田便利用状況
2014年度　175.0万人
2015年度　112.4万人（前年比 ▲35.8%）
　※2016.3　12往復/日→10往復/日
2016年度　109.3万人（前年比 ▲ 2.7%）
2017年度　109.8万人（前年比 ＋ 0.4%）

○県外観光入込客数

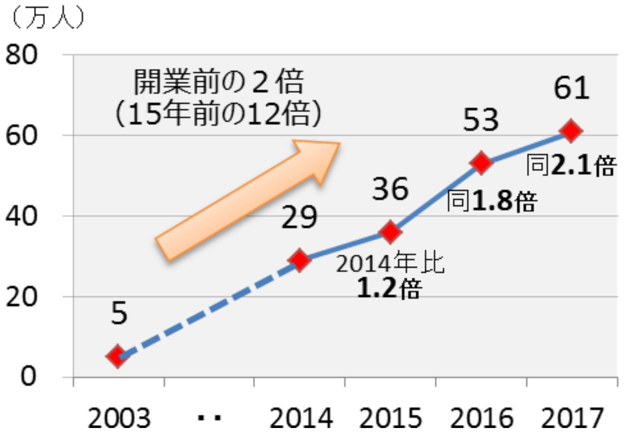


＜全県に波及＞

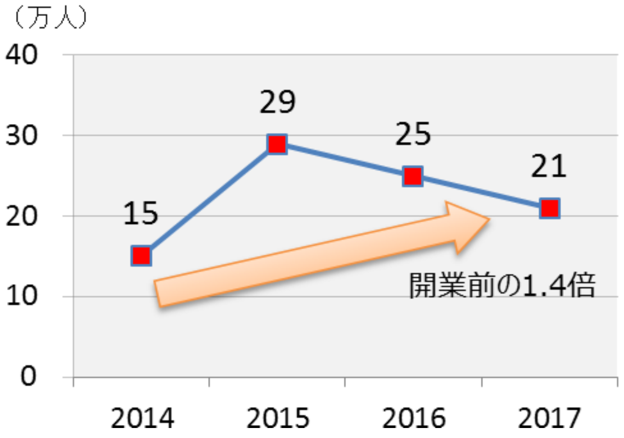
※首都圏からの地域別入込客数

	2014年		2017年	
金沢地域	139万人	→	235万人	（1.7倍）
加賀地域	31万人	→	56万人	（1.8倍）
能登地域	72万人	→	122万人	（1.7倍）

○外国人宿泊者数

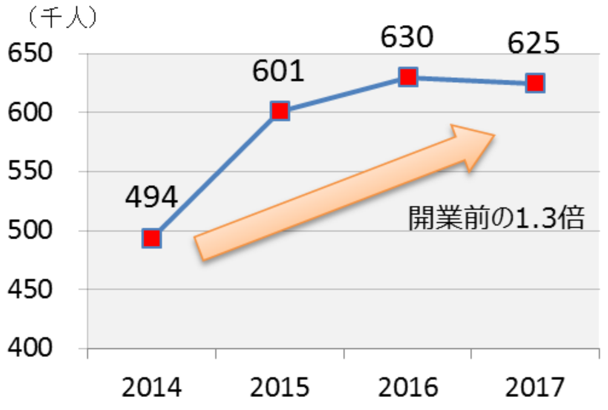


○大規模コンベンション参加者数

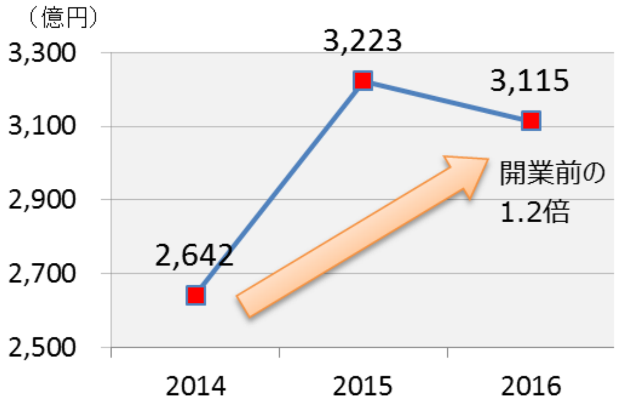


２．開業による主な効果（つづき）

○金沢主要ホテル宿泊者数



○観光消費額



３．想定外の効果

○東北からの観光客増

2014年		2017年
127千人	▶	228千人

1.8倍

（大宮乗換で仙台−金沢間約３時間半）
⇒東北との双方向の直通新幹線が運行。

○金沢港のクルーズ船の寄港数増

（単位:本）

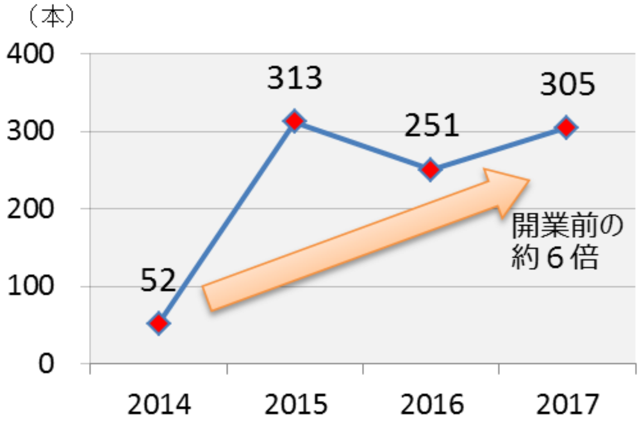
	2014年	2015年	2016年	2017年
全寄港数	16	19	30	55
うち金沢発着クルーズ	3	7	22	41

新幹線とクルーズを組み合わせた新たな旅行形態「レール＆クルーズ」が定着（金沢港発着の日本海周遊クルーズの乗客の４割が首都圏客(2017年)）。

４．観光面以外の主な効果

○石川県の注目度の上昇

本県を紹介する全国ネットのテレビ番組数



○県外企業の進出

・約８０社の県外企業が支店・営業所を開設

・企業立地の増加

2010年～2012年		2013年～2017年
年平均5.3社	▶	年平均11.6社

2.2倍

○子育て世代の移住の増加

30・40代、0～14歳の転入超過数

2014年		2017年
185人	▶	774人

4.2倍

○経済指標の動向

・日銀金沢支店「北陸の金融経済月報」における北陸地域の景気情勢

2015年　４月　回復している
2017年　４月　緩やかに拡大している
2017年１２月　拡大している（バブル期の1991年以降では初めての表現）

・鉱工業生産指数　（2010年＝100.0）

	2014年	2015年	2016年	2017年
石　川　県	125.8	127.8	130.5	141.7
全　　　国	99.0	97.8	97.7	102.0

・有効求人倍率　（単位:倍）

	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
石　川　県	1.41	1.48	1.67	1.89
全　　　国	1.11	1.23	1.39	1.54